

オゾン水は、生成時の濃度が重要です！！

コスモクリーンジュニア:オゾン濃度0.8~1.5ppmだから安心

原料は空気！PH7.2 日々のランニングコストはありません。1年一回の消耗品の交換だけ！

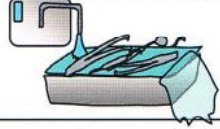
オゾン除菌マニュアル

手指の除菌洗浄



オゾン流水で約15秒以上洗浄し、ペーパータオルで拭くか、エアードライヤーで乾燥させます。
(蛋白、油分が付着している場合は石鹸等で洗浄した後におこないます。)

治療器具の除菌



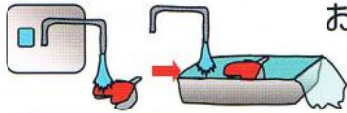
オゾン流水で除菌洗浄後、除蛋白液での超音波洗浄をおこない、その後、薬液の除去やさらに除菌をする為にオゾン水で約30秒以上流水浸漬します。以降そのままオートクレープで滅菌します。

患者の洗口



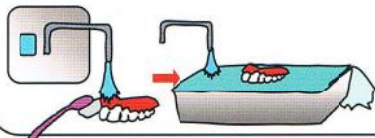
治療開始前の口腔内洗浄を洗口液の代わりにオゾン水でおこないます。(5秒間洗口を3回以上)
スケーラー・ルートプレーニング前後の洗浄・除菌でも同様に使用します。(レジン充填前の部位にシリンジで除菌洗浄！)

印象面の除菌



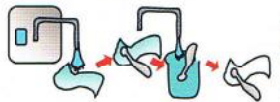
印象採得後オゾン流水で洗浄し、さらに流水浸漬を約30秒以上おこないます。

義歯の除菌洗浄



オゾン流水下でブラシ洗浄し、さらに流水浸漬を約30秒以上おこないます。(まとわり付いている唾液もサラッと流してくれます。)

タービンヘッド



オゾン水で十分に濡らした布で外側ヘッドの汚れを拭き取って下さい。ピーカーのような容器に入れ、オゾン浸漬流水を約30秒以上おこない、その後、清潔な布で水分を拭き取ります。(オーリングが生ゴム使用のタービンの浸漬はおさげ下さい)

タービンはメーカーによって浸漬出来ない物もありますのであらかじめお確かめ下さい。

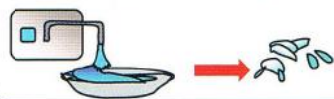
スピットン・排唾管等



スピットンの除菌はオゾン水を全体にゆきわたるよう緩やかに流して下さい。

排唾管・バキュームホース内【生ゴムの使用されていない】の除菌はオゾン水を500cc以上程吸引させて下さい。

ユニット・レントゲン・キャビネット等



スプレー容器で清掃部に近づけオゾン水を吹き付けて、清掃用布をオゾン水に15秒以上流水浸漬し、軽くしぼった布で拭きます。その後、乾いた布で拭き上げます。

オゾンは食品添加物です。

新型インフルエンザを初めとするウイルス・細菌への除菌は、コスモクリーンシリーズ オゾン水が最適です。院内絶対安全宣言

オゾン水が選ばれる理由・・・原材料は水と空気だけ

1. 備蓄・調達の手配不要=原料コストダウン=薬液使用減少
2. 手洗い・うがい・洗顔、高い性能で1台3役
3. 高い安全性=誰にでも使えるユニバーサル製品。
4. 眼に入れても飲んで安心。手荒れの心配もありません。

厚生労働省研究センターより

表-1 オゾン水による微生物の不活性化効果

微生物の種類	水中オゾン濃度(ppm)	微生物濃度(個/ml)	温度(°C)	PH	時間(分)	殺滅率(%)
大腸菌	0.98	10 ⁶ cells	21.0	7.0	5分	100
ブドウ球菌	1.08	10 ⁶ cells	21.0	7.0	5分	100
緑膿菌	1.01	10 ⁶ cells	21.0	7.0	5分	100
クロストリジウム						
・パーフルンゲン	0.98	10 ⁶ cells	21.0	7.0	5分	100
インフルエンザウイルス	0.98	10 ⁷ TCID ₅₀	21.0	7.0	5分	100
溶血性連鎖球菌	0.72	10 ⁷ TCID ₅₀	20.0	7.0	5分	100
大腸炎性肺炎ウイルス	1.20	10 ⁷ TCID ₅₀	21.0	7.0	5分	100
犬パルボウイルス	0.98	10 ⁷ TCID ₅₀	21.0	7.0	5分	100
腸コクシジウム	1.92	約3×10 ⁶ cells	20.0	7.0	30分	100
カビ	0.3~0.5	10 ⁶ cells	20.0	6.5	10分	99.9
酵母	0.3~0.5	10 ⁶ cells	20.0	6.5	10分	99.9
枯草菌	0.3~0.5	10 ⁶ cells	20.0	6.5	30分	99.9

※所定の微生物濃度に希釈するために用いた滅菌蒸留水のpHである。